

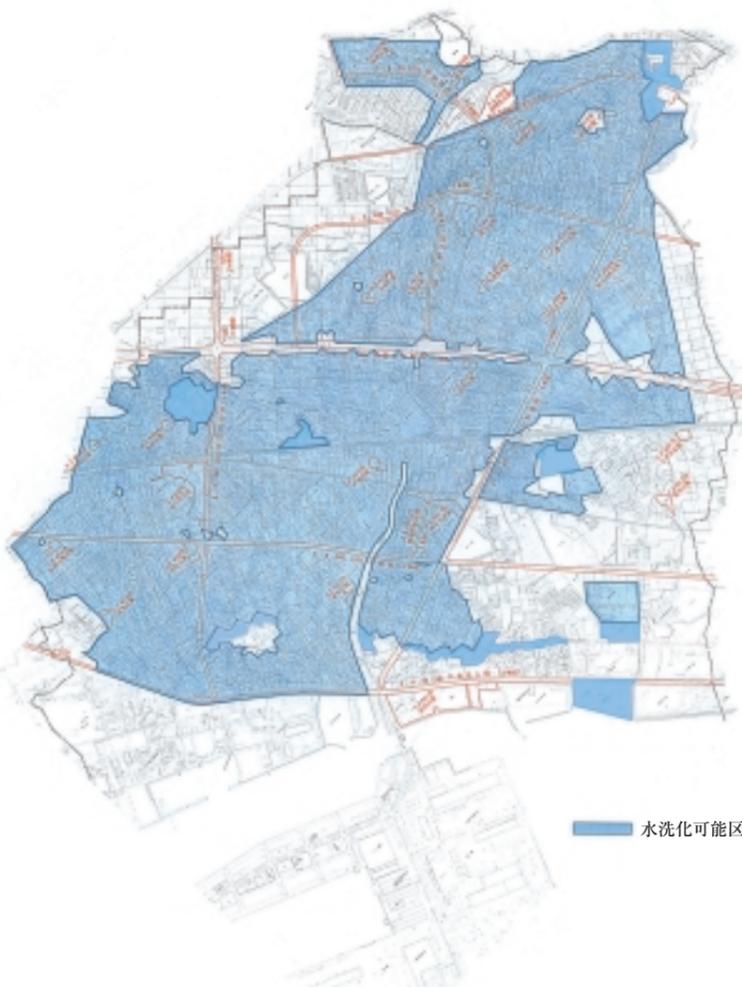
# 自然とまちの暮らしを守る下水道

生活排水で汚れてきた川やため池の水。それをきれいにするため播磨町では、昭和63年より下水道整備を開始しました。それから15年。下水道整備は着実に前進し、私たちの見えないところで快適な暮らしを支えています。今回は、この下水道の状況などについて紹介します。

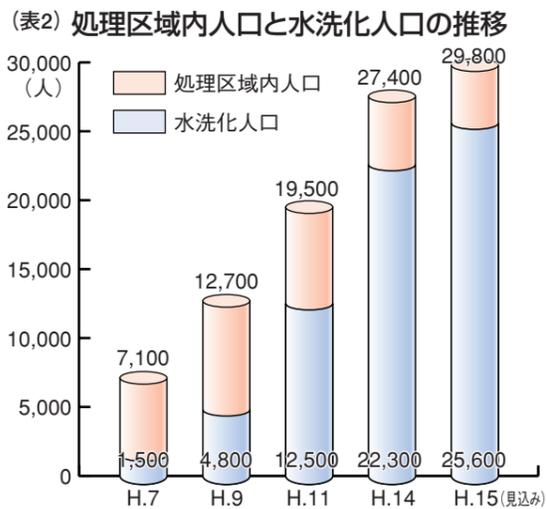
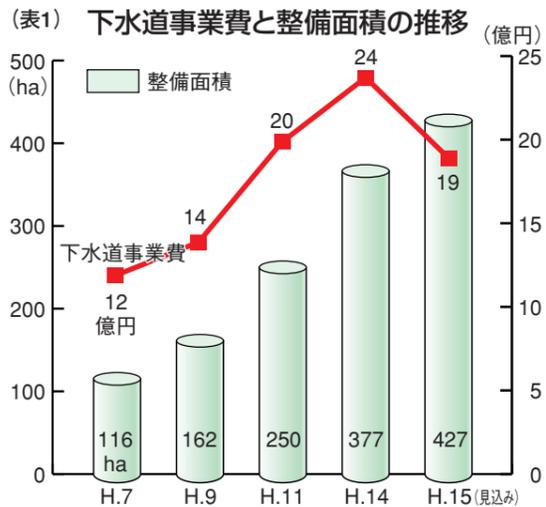
▶問い合わせ  
管理課  
☎0794 (35) 2379

## 水洗化できる地域が広がりました

(平成15年4月1日現在)



処理区域の方は下水道を利用しましょう！



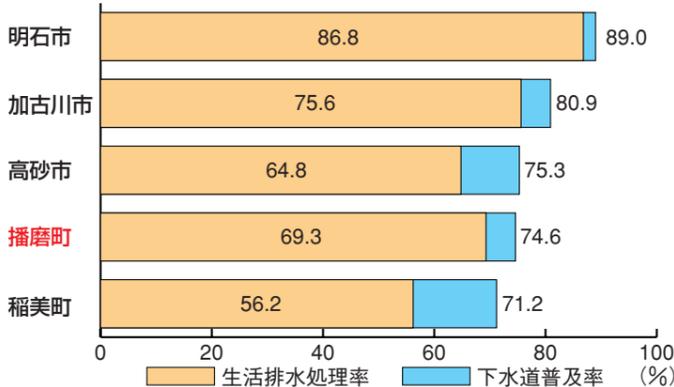
**約65%の世帯が下水道を利用**

播磨町 播磨町の下水道の進み具合はどのような状況ですか？

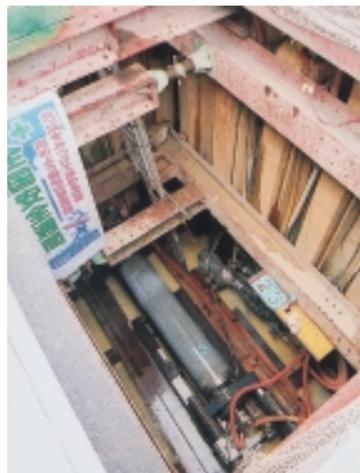
水男 では、上の表を見てください。平成14年度末での下水道(汚水)の整備状況は、整備面積が377ha、下水処理可能人口は22,300人、400人となっており、処理人口普及率(※1)は79%となっています。

## 各市町の下水道普及率と生活排水処理率(平成13年度末)

(兵庫県県土整備部土木局下水道課提供)



※1. 処理人口普及率 = (処理区域内人口) ÷ (町人口) × 100  
 ※2. 水洗化普及率 = (水洗化人口) ÷ (処理区域内人口) × 100



▲推進工事の様子

播磨町 水男さん、こんにちは。最近、私の家の近くで下水道の工事が行われているのですが、下水道はなぜ必要なのですか？

水男 下水道は、家庭や事業所からの排水(汚水)といいますが、下水道はなぜ必要なのですか？

水男 下水道は、家庭や事業所からの排水(汚水)といいますが、下水道はなぜ必要なのですか？



まちをきれいに

### ◎きれいな川や海に

川や海の水質汚濁は、家庭などから直接流れ込む汚水が原因の一つであると言われています。下水道が整備されると、これらの汚水は污水管により処理場に送られ、バクテリアなど微生物の働きできれいな水に処理されてから川や海に放流されるので水質が保たれます。



### ◎まちの環境が向上

下水道が整備されると、衛生的で快適な水洗便所が使えるようになります。また、家庭からの汚水や工場排水を処理し、蚊やハエの発生、悪臭を防ぎ、生活環境が向上します。



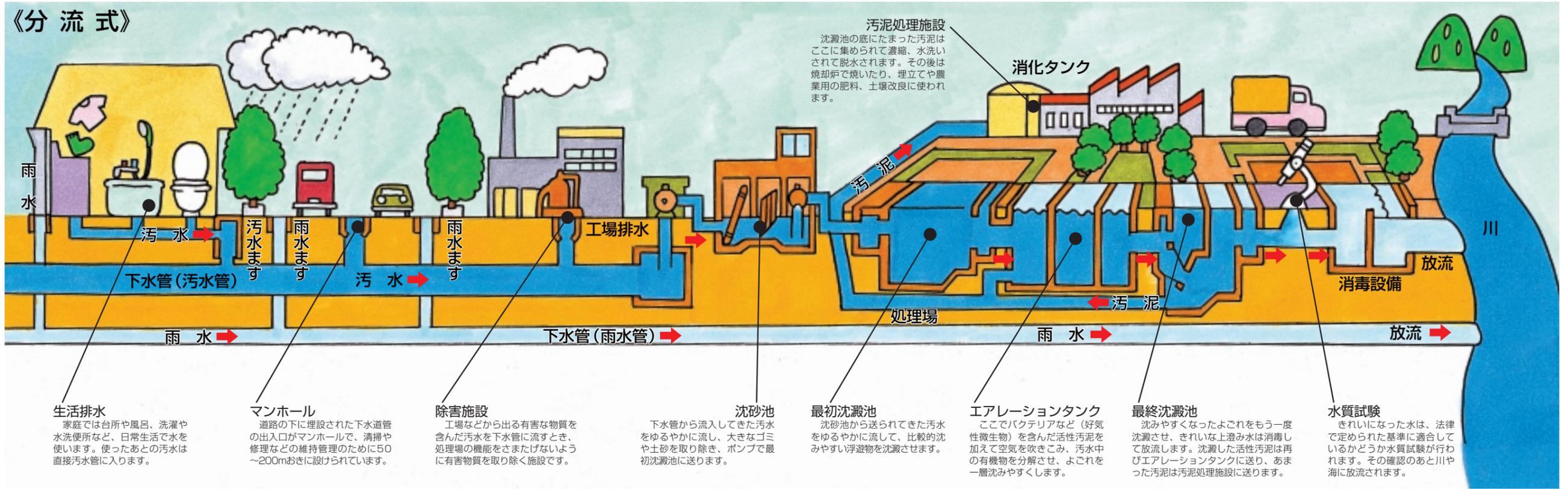
### ◎災害時にも役立ちます

梅雨や台風などの大雨のときも、雨水を速やかに排除する機能もあるので、浸水などの災害から私たちの生命・財産を守っています。

播磨町 下水道は、道路や公園のように目にはつかないけれど、私たちの日常生活を支えるとても大事な施設なのです。



▲下水道事業の開始をお知らせした広報「はりま」昭和62年11月号



**水質試験**  
きれいになった水は、法律で定められた基準に適合しているかどうか水質試験が行われます。その確認のあと川や海に放流されます。

**最終沈澱池**  
沈みやすくなったよこれをもう一度沈澱させ、きれいな上澄み水は消毒して放流します。沈澱した活性汚泥は再びエアレーションタンクに送り、あまった汚泥は汚泥処理施設に送ります。

**エアレーションタンク**  
ここでバクテリアなど(好気性微生物)を含んだ活性汚泥を加えて空気を吹きこみ、汚水中の有機物を分解させ、よこれを一層沈みやすくします。

**最初沈澱池**  
沈砂池から送られてきた汚水をゆるやかに流して、比較的沈みやすい浮遊物を沈澱させます。

**沈砂池**  
下水管から流入してきた汚水をゆるやかに流し、大きなゴミや土砂を取り除き、ポンプで最初沈澱池に送ります。

**除害施設**  
工場などから出る有害物質を含んだ汚水を下水管に流すとき、処理場の機能をさまたげないように有害物質を取り除く施設です。

**マンホール**  
道路の下に埋設された下水道の出入口がマンホールで、清掃や修理などの維持管理のために50~200mおきに設けられています。

**生活排水**  
家庭では台所や風呂、洗濯や水洗面所など、日常生活で水を使います。使ったあとの汚水は直接汚水管に入ります。

**「バクテリアなど微生物で水をきれい」**

**播子** では、播磨町から出る汚水はどのようにして自然に返っているのですか？  
**水男** はい。まずは上の図を見てください。下水道は大きく分けて、家庭の台所、風呂、水洗便所などからの汚水や工場排水を集めるための下水道管(汚水管)と、汚水を処理してきれいな水に浄化する処理場、また雨水を集めるための下水道管(雨水管)と雨水をスムーズに流すためのポンプ場で構成されています。  
播磨町の下水処理方法は、汚水と雨水を別々の管に分けて排水する、分流式という方法を採用しています。  
汚水は、道路下に埋められた汚水管を通して加古川下流浄化センター(加古川市尾上町)へ送られ、バクテリアなど微生物の働きできれいな水に処理して川へ放流しています。  
一方雨水は、そのまま既存の水路へ流しており、低地にはポンプ場をつくって浸水を防止しています。



▲加古川下流浄化センター(加古川市尾上町)



▲本荘雨水ポンプ場

**「家庭の水洗化をお手伝い」**

**播子** 家の近くの下水道工事が終われば、どうすればよいのですか？  
**水男** はい。下水道整備が終わった区域の方々には次の3点をお願いしています。  
**①排水設備工事**  
各家庭の汚水は、下水道に流すことが義務付けられます。そのため汚水を下水道に流すための排水施設(排水設備)を設置していたなければなりません。  
この排水設備の工事は、町の指定工事が施工し、その費用は個人負担でお願いいたします。

**②くみ取り便所の水洗化**

下水道が新たに整備された区域は、使用開始の公示日から3年以内にくみ取り便所(家庭雑排水も含む)などを水洗化するための工事を行うことが義務付けられています。

**③し尿浄化槽の廃止**

し尿浄化槽による水洗トイレをご使用の場合も、すみやかに下水道への切り替え工事をお願いいたします。

**「受益者負担で公平に」**

**播子** 下水道整備にはすくお金がいると聞きました。全部税金で整備しているのですか？  
**水男** いえ、全部税金というわけではなく、国からの補助金や借入金もある起債、一般会計からの繰入金(町税などの町費)、そして受益者負担金でまかなわれています。  
**播子** 最後の「受益者負担金」って何ですか？詳しく教えてください。  
**水男** はい。下水道が整備されると、便所の水洗化や汚水の衛生的な処理など生活環境が改善され、土地の利用価値も高まりますよね。でも、下水道施設は道路や公園のように誰もが自由に利用できる公共施設と違い、整備することによって利用できる人が限定されます。だから、下水道の建設費を町費だけでまかなうことは、下水道の恩恵を受けない人たちにまで負担をかけることになり、公平な負担の原則に反しています。  
そこで法律に基づいて、『建設費の一部は、下水道を利用できる人たちに負担していただく』ということによって受益者負担金を納めていただいております。  
**播子** では、その受益者負担金を、誰がどれくらい納めるのですか？  
**水男** はい。下水道が整備される区域内に土地を持っておられる方などから、一平方メートルあたり300円を一度限り負担していただいております。ですから、受益者負担金の趣旨をご理解いただき、下水道事業にご協力いただきたいと思っております。  
**播子** 公園や道路と違って「利益を受ける人が負担する」ということで、受益者負担金なのですね。分かりました。

**播子** 下水道で環境が良くなるのは「いいこと」と分かるのですが、一度に多額の負担は大変ですよね…。  
**水男** おっしゃることは、よく分かります。町では、皆さんの経済的負担を少しでも少なくするために、次のような制度を設けていますので、詳しくはお問い合わせください。  
◎助成金交付制度  
▼対象 公共下水道の供用開始の日から3年以内に、改造により下水道に切り替えを行う方。  
▼内容 くみ取り便所の改造  
・ 一戸につき10,000円  
・ 浄化槽の廃止  
・ 一戸につき8,000円  
◎融資あっせん制度  
▼対象 公共下水道の改造工事を行う方。  
▼内容 一戸につき80万円以内(償還期間36カ月)  
※償還完了後に利子分を補給します。

**見たことある？ このマンホール**

デザインの由来  
町のシンボルである大中遺跡の復元住居と、町花である菊を組み合わせています。

**播子** 下水道のことがちょっと分かったような気がします。水男さん、今日はありがとうございました。  
**水男** いえいえ、また何かあればお気軽にお尋ねください。